

令和2年度 設備設計1級建築士 総合 対策講座【水曜コース】日程表

既に終了している日程についても、来校のうえ補講での視聴が可能です。詳細は、各校にお問い合わせください。

●設備設計1級建築士 必修項目習得講座（令和2年） 講習時間 8.0h（法適合確認：4.0h＋設計製図4.0h）

回数	日程	時間	科目	項目	学習システム	学習内容・到達目標	添削指導
1	12月下旬より 本講座開講まで 繰り返し学習	1.0h	法適合確認1	空調・換気設備	法適合確認、O×トレーニングをもとに重要ポイントを学習 ＋ 各項目の最後に演習テストで、理解度を確認 ＋ 演習テスト解説講義で出題のポイントを確認	空調・換気設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	必修項目習得講座での添削指導はありません。
2		1.0h	法適合確認2	給排水衛生設備		給排水衛生設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
3		1.0h	法適合確認3	電気設備		電気設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
4		1.0h	法適合確認4	輸送設備		輸送設備の法適合確認の重要ポイントを理解する	
5		1.0h	設計製図1	事務所ビルの計画の要点	要点記述トレーニングノート、作図トレーニングノートをもとに、記述、作図のスピードアップのポイントを学習 ＋ 記述、作図のワーク	事務所ビルの各設備の計画の要点を理解する	
6		1.0h	設計製図2	空調・換気設備		系統図、機械室の配置図、平面ダクト図の描き方手順を学習する	
7		1.0h	設計製図3	給排水衛生設備		系統図、便所の平面図の描き方手順を学習する	
8		1.0h	設計製図4	電気設備		単線結線図、照明設備の平面図の描き方手順を学習する	

●設備設計1級建築士 総合 対策講座（令和2年） 講習時間 85.0h＋6.0h（模擬考査3）（法適合確認31.0h＋2.0h＋設計製図54.0h＋4.4h）

回数	5月開講日程※2	2月開講日程※2	時間	科目	項目	学習システム	学習内容・到達目標	添削指導
1	5/27(水)	2/19(水)	5.0h	法適合確認1	ガイダンス 換気設備等の法規 排煙設備の法規 給水設備の法規 演習テスト＋演習テスト解説講義	オリジナルテキストを用いて、法適合確認のチェックポイントを各項目ごとに学習 ＋ 各項目ごとに記憶が鮮明なうちにチェックテストを行い、知識を整理・定着 ＋ 最後に演習テストで、当日の理解度を確認 ＋ 演習テスト解説講義で出題のポイントを確認	出題範囲、教材の特徴、合格するための学習の進め方を理解する 居室の換気、火気使用室の換気、冷却塔 の法適合確認のチェックポイントを理解する 排煙設備の設置基準、防煙区画、排煙機の風量、特殊な排煙設備、ボイラーの煙突 の法適合確認のチェックポイントを理解する 飲料水貯水タンク(受水槽)の構造等、配管設備の接続状況等、防火区画の貫通状況等 の法適合確認のチェックポイントを理解する 演習テストで出題のポイントを確実に理解する	チェックテスト、 演習テストの添削 ＋ 宿題課題の添削
2	6/3(水)	3/11(水)	5.0h	法適合確認2	排水設備の法規 防災設備の法規1 防災設備の法規2 演習テスト＋演習テスト解説講義		排水設備の構造、排水槽、通気管、排水再利用設備 の法適合確認のチェックポイントを理解する 非常用の照明設備の設置基準、非常用の照明設備の構造、非常用照明器具の配置方法、電源回路の耐熱規制 の法適合確認のチェックポイントを理解する 避雷設備、予備電源設備 の法適合確認のチェックポイントを理解する 演習テストで出題のポイントを確実に理解する	
3	6/10(水)	4/1(水)	5.0h	法適合確認3	輸送設備の法規1 輸送設備の法規2 輸送設備の法規3 演習テスト＋演習テスト解説講義		輸送設備の基本事項、荷重の算定、構造上主要な支持部分、かごの構造 の法適合確認のチェックポイントを理解する 昇降路の構造、機械室、駆動(制御)装置、安全装置 の法適合確認のチェックポイントを理解する 非常用エレベーターの追加確認項目、小荷物専用昇降機、段差解消機、エスカレーター の法適合確認のチェックポイントを理解する 演習テストで出題のポイントを確実に理解する	
4	6/17(水)	4/22(水)	7.0h	設計製図1	ガイダンス 事務所ビルの設備計画		空調・換気設備、給排水衛生設備、電気設備、それぞれの出題傾向、解答するうえでの注意点を理解する 課題の読み取り方を確認し、計画の条件を的確に握るようにする。それぞれの設備計画の要点、概算負荷計算の仕方について、ワークシートを用いて実践演習を通して習得する	
5	6/24(水)	5/13(水)	7.0h	設計製図2	空調・換気設備の計画	空調・換気設備の計画条件の読み取り、機器表の作成、空調配管系統図、事務所のダクト平面図の作図手順について、ワークシートを用いて実践演習を通して習得する		
6	7/1(水)	6/3(水)	7.0h	設計製図3	給排水衛生設備の計画	給排水衛生設備の計画条件の読み取り、機器表の作成、給水・雑用水系統図、便所の配管平面図の作図手順について、ワークシートを用いて実践演習を通して習得する		
7	7/8(水)	6/24(水)	7.0h	設計製図4	電気設備の計画	電気設備の計画条件の読み取り、機器表の作成、単線結線図の作図、照明計算、照明配置図の作図手順について、ワークシートを用いて実践演習を通して習得する		
8	7/15(水)	7/15(水)	10.0h (法適合考査2.0h＋解説2.0h) (設計製図考査4.0h＋解説2.0h)	法適合確認4 設計製図5	模擬考査1	オリジナル模擬考査を本番と同じ形式で実施 ＋ 解説講義で採点のポイントを確認	現状の実力を把握し、今後の答練に向けた学習指針を立てる。	模擬考査の添削 ＋ 宿題課題の添削
9	7/22(水)	7/22(水)	4.0h	法適合確認5	答練(空調・換気設備)	オリジナル答練問題を用いて、項目ごとに問題演習 ＋ 解説講義で法適合確認のチェックポイントを整理	制限時間を設けて実践形式で空調・換気設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	答練の添削 ＋
10	7/29(水)	7/29(水)	4.0h	法適合確認6	答練(給排水衛生設備)		制限時間を設けて実践形式で給排水衛生設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	
11	8/5(水)	8/5(水)	7.0h	設計製図6	答練(電気設備)	オリジナル答練問題を用いて問題演習 ＋ 解説講義で採点のポイントを整理	制限時間を設けて実践形式で電気設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	答練の添削 ＋ 宿題課題の添削
12	8/12(水)	8/12(水)	7.0h	設計製図7	答練(輸送設備)		制限時間を設けて実践形式で輸送設備の答練を行い、答練の解説を通して法適合確認のチェックポイントを学習する	
13	9/16(水)	9/16(水)	10.0h (法適合考査2.0h＋解説2.0h) (設計製図考査4.0h＋解説2.0h)	法適合確認7 設計製図8	答練(課題文の読み取り方法) 答練(必須問題対策)	オリジナル答練問題を用いて問題演習 ＋ 解説講義で採点のポイント、計算手順、作図手順を理解	実践形式で課題文の読み取り方法を学習する 制限時間を設けて実践形式で必須問題の答練を行い、答練の解説を通して採点のポイントを理解する	模擬考査の添削 ＋ 宿題課題の添削
14	10/28(水)	10/28(水)	6.0h (法適合考査2.0h) (設計製図考査4.0h)	法適合確認8 設計製図9	答練(選択問題対策)※1	オリジナル模擬考査を本番と同じ形式で実施 ＋ 解説講義で採点のポイントを最終確認	学院テキスト、本番と同じ体裁の答案用紙を用いて、本番と同じ時間(法適合確認2時間、設計製図4時間)の中で、時間配分を意識して解答を完成させる 合格レベル(上位)の解答例と自身の解答を比較して、習得できていない部分や理解が不十分な部分を把握し、本番までに克服する	模擬考査の添削

※1 空調・換気設備、給排水衛生設備、電気設備の3分野の中から1つ選択します。

※2 講座日程および学習カリキュラムについては、変更を行う場合があります。

9月下旬～10月中旬（連続する3日間）  
（公財）建築技術教育普及センター講習受講  
11月15日  
設備設計1級建築士講習 修了考査